

◇ 8月の天文暦 ◇

日時	記	事
1 18	水星	外合
4 6	金星	留
7 21	朔	
8 13	立秋	(太陽黄経 135°)
9 5	月	最近
14 11	上弦	
15 17	木星	留
22 5	望	
6	海王星	留
24 3	処暑	(太陽黄経 150°)
13	月	最遠
27 22	金星	内合
30 8	下弦	

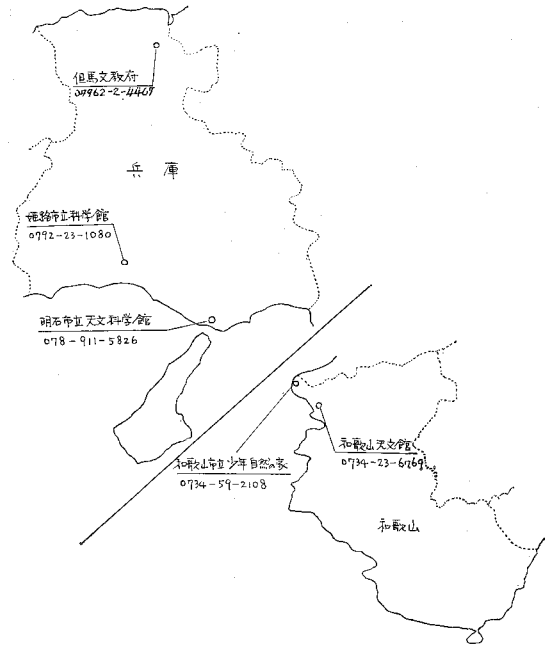
☆ 天文教育施設めぐり (VII) ☆

兵庫・和歌山

兵庫, 和歌山2県で一般に利用できる天文教育施設について紹介する。

まず兵庫県では、明石市立天文科学館がある。東経135°日本標準時子午線上に建てられたもので、ツァイス・イエナ(東独)製の大型プラネタリウムがある。プラネタリウムは、月ごとに解説テーマを変え、小中高校の青少年はじめ一般社会人を対象に、社会教育的観点からの投影が、1日5~6回おこなわれている。また、期間をきめて小中学校の各学年別の学習内容に応じた投影もおこなわれ、生徒にプラネタリウムの星を観察させて、学校教育の中での天体教材学習に役立てている。

展示品は天文・宇宙科学関係のものが大部分である。また15cm屈折赤道儀による天体観望会を月1回程度(8月中は毎週土、日曜)実施したり、小中学生を主体にした「友の会」を組織するなど多角的に天文教育活動がおこなわれている。



姫路市立科学館は、物理実験装置や動植物鉱物の展示が主であるが、小型プラネタリウムと天体望遠鏡があり、四季ごとに天文教室が開催されている。

豊岡市の但馬文教府(県立)も、主として物理実験装置を備えた科学館であるが、プラネタリウムは兵庫県山陰側の学校団体を対象に随時に投影されている。

和歌山県では、私立和歌山天文館がある。ここは大阪電気科学館に長く勤務され、日本のプラネタリウムの草分け的存在である高城武夫氏が、退職後に経営されているもので、広く県内や大阪府南部の小中学校の要望に応じて随時にプラネタリウムの投影がおこなわれている。

和歌山県立少年自然の家は、紀淡海峡に面した和歌山県加太にあり、学校団体が自然観察や体育指導に利用する施設で、宿泊ができ夜間には15cm屈折赤道儀と小型プラネタリウムで天体観察の指導がおこなわれている。(河野健三)

